令和5年度 第3回教科用図書第10採択地区教育委員会協議会議事録

1 期 日

令和5年8月3日（木）

2 場 所

室蘭市役所議会第1会議室

3 委員の出欠席

（1）出 席

会　　長	白老町教育委員会教育長	安 藤 尚 志
副 会 長	伊達市教育委員会教育長	影 山 吉 則
副 会 長	むかわ町教育委員会教育長	長谷川 孝雄
委　　員	豊浦町教育委員会教育長	葛 西 正 敏
委　　員	洞爺湖町教育委員会教育長	渋 川 賢 一
委　　員	安平町教育委員会教育長	種 田 直 章
委　　員	登別市教育委員会教育長	安 宅 錦 也
事務局長	室蘭市教育委員会教育長	伊 藤 博 明

（2）欠 席

委　　員	壮瞥町教育委員会教育長	谷 坂 常 年（生涯学習課長代理出席）
委　　員	厚真町教育委員会教育長	遠 藤 秀 明（生涯学習課長代理出席）

4 その他出席者

（1）事 務 局

室蘭市教育委員会教育指導参事	入 村 貴 之
室蘭市教育委員会学校教育課長	山 口 尚 子
室蘭市教育委員会学校教育課	小 林 裕 史

5 開 会（10:00）

6 議 事

（1）令和6年度から使用する中学校用教科用図書の選定に関する協議及び1種選定について

（2）令和5年度教科書展示会における意見等について(報告)

（3）その他

7 その他

（1）事務局連絡

教科用図書第 10 採択地区教育委員会協議会議事録等の公表について

令和5年度 第3回 教科用図書第10採択地区教育委員会協議会議事録

令和5年8月3日（木）

〇事務局

お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

ただいまから、令和5年度第3回教科用図書第10採択地区教育委員会協議会を開催いたします。本日は、壮瞥町の谷坂教育長、厚真町の遠藤教育長がご欠席のため、壮瞥町教育委員会生涯学習課長の河野様、厚真町教育委員会生涯学習課長の阿部様に代理でご出席いただいております。

それでは、開会にあたり、会長からご挨拶をいただきます。

〇会長

本日は、調査委員会における調査研究の結果の報告を受け、令和6年度から使用する小学校用教科用図書について選定することになりますので、よろしくお願いいたします。

〇事務局

それでは、この後は、会長の進行でお願いいたします。

〇会長

それでは、議事に入ります。

議事の1つ目、令和6年度から使用する小学校用教科用図書の選定に関する協議及び1者選定までの進行等について、事務局から説明をお願いします。

〇事務局

1者選定までの進め方について、ご説明申し上げます。

今回、選定しなければならない小学校用教科用図書は、13種目でございます。これら1種目ごとに、調査委員会の小委員会委員長から報告を受け、質疑及び協議を行い、1者を選定するという流れで進めてまいります。

また、特別支援学級で使用する教科用図書（一般図書）についても調査研究を行いましたので、小委員長から報告を受け、質疑などを行います。

協議する順番及びタイムスケジュールは、会議次第に記載されているとおりでございます。

以上です。

〇会長

それでは、早速ですが、小委員長より「国語」の教科書見本本の調査研究結果について報告をお願いします。

〇小委員長

小学校「国語」小委員会委員長の伊達市立伊達小学校校長の花田です。

小学校「国語」の教科書見本本について、調査研究の報告書に基づき説明させていただきます。

小学校「国語」小委員会では、3者の教科書見本本について調査研究を行いました。

はじめに、取扱内容について報告いたします。

学習指導要領の目標、内容等に基づく学習活動については、国語においては、「知識及び技能の内容」と「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」について調査研究を進めました。

今回の改訂では、国語科で育成を目指す資質・能力を「国語で正確に理解し適切に表現する資質能力」と規定するとともに、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理されています。また、このような資質・能力を育成するためには、児童が「言葉による見方・考え方」を働かせることが必要であることを示しています。

学年の目標についても、従前、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の領域ごとに示していた目標を、教科の目標と同様に、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理しています。

東京書籍では、全学年において、教材や題材の選定にあたっては、学年を通して多様な内容やテーマのものを取り上げるように配慮し、幅広い知識や教養を身に付けられるようになっています。

各教材や単元において扱う内容を重点化し、6年間を通じて段階的・系統的に学習が積み上がるようにしています。また、単元ごとに学習を通じて育成する資質・能力を「言葉の力」として明確化し、6学年を通して系統的に配列されています。

教育出版では、「不易」と「流行」など17のポイントを考慮した教材が選定されています。国語による理解力や表現力を育成し、伝え合う力、豊かな言語感覚を養い、系統的な学習を意図して単元のねらいを明確にし、言葉による見方・考え方を働かせて、児童が自ら学び、自ら考える力を身に付けられるように配慮されています。

光村図書では、学年の目標及び内容がもれなく指導できるよう、また、言語活動例がそれぞれの段階で扱えるように教材を選定・作成がされています。各単元・教材のねらいを明確にし、基礎的・基本的な内容が着実に身に付けられるよう、学年内・学年間を見通して系統的に位置付けられています。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応等では、東京書籍では、見通しと振り返りが重視されています。当該学年で学習する「言葉の力」をロードマップで一覧できる「言葉の力を集めよう」で年間の学習への見通しを、単元冒頭の「学習の流れ」で単元の学習への見通しをもてるようにされています。「振り返る」では、結果だけではなく過程への評価を促すような文言も示されています。

教育出版では、学び合いが深められるように、言葉の力を高めるため、指導内容を適切なタイミングで、かつ反復的に扱えるように教材が配置されています。さまざまな教材を通して、多様な言葉と出会い、言葉の力を育みながら、「言葉の旅」が継続されています。

光村図書では、確かな言葉の力を育むために、「見通しをもとう」「ふりかえろう」「たいせつ・い

かそう」を配置し、学習の手引きを上下2段に整理し、学習の流れを明確にすることで児童が主体的に取り組めるようにしています。

次に「内容の構成・排列」について報告いたします。

内容の構成・排列につきましては、東京書籍では、教材や題材は、児童の関心や発達の段階に合わせた適切なものが取り上げられています。領域ごとの学習のつながりに配慮するとともに、領域相互の関連にも配慮されています。

教育出版では、教材は、系統の展開をおさえながら、学年の発達段階や時数に応じた構成になっています。各学年の配当時数、発達段階、教材間の連携をふまえて、無理のない数の教材配列の設定となっています。

最後に「使用上の配慮等」についてご報告いたします。

学習意欲を高める工夫として、東京書籍で、「まなびリンク」として、二次元コードとデジタル機器との連動で、参照できる資料等をウェブサイトで見られるようになっています。

教育出版では、タブレット等で思考ツールを用いた例を示し、思考を可視化することで、より広く深い思考へと導くように工夫されています。

光村図書では、二次元コードが示してある場所には、児童が学習を進めるうえで参考となり、さらに興味・関心をもって学べる資料が収められています。

以上で、「国語」小委員会の報告を終了します。

○会長

ありがとうございました。ただいま、小委員長より報告をいただきましたが、委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

○委員

国語の教材で読み取りを行っていく際には、文章はもちろん大切ですが、挿絵もすごく大事だと思っております。3者それぞれ特徴的なものがあれば教えてください。

○小委員長

大きな特徴の差はございませんでした。今、求められているものとして、各者とも子どもたちがわかりやすく学びやすいものとなっておりました。

○委員

読書活動との関連を図った指導として、どのような工夫が見られますか。

○小委員長

光村図書では「本は友達」、教育出版では「本を読もう」、東京書籍では「こんな本もいっしょに」などというタイトルで、読み物教材の終わりに、作者の他の作品や主題が関連する本等について表

紙の写真にポップを添えて紹介することに加え、各者とも数ページを割いて発達の段階に即した数多くの本を紹介しています。

○委員

3者の大きな違いがあれば教えてください。

○小委員長

大きな差というのは感じられませんでした。

○会長

ご苦労様でした。それでは、お引き取り下さい。

それでは、ただいまの報告と質問に対する回答を踏まえながら1者選定に関する協議を行いたいと思います。皆様方から御意見をお伺いしたいと思います。

○委員

光村図書については、指導要領の内容がまたがっていないので、狙いが明確であり、指導が行いやすい、単元の配列表が非常に見やすく、指導事項や指導の系統性が一目でわかるということで、光村図書を推薦したいと思います。

○委員

自分が担任だった場合にどれが使いやすいかを考えると、光村図書と教育出版が良いと感じました。国語ですので、担任が現在使用している題材を変更するのは大変ですので、現在使用している光村図書が良いと感じました。

○会長

ただいま、お二人から現行の光村図書でという意見をいただいておりますが、それ以外の意見はございますか。ないようですので、光村図書は、題材に入る前に、学習の目標とこれまでの学習と関連する既習の題材が明記され、また、題材の後には、学習過程が一目で分かるように記載されている手引きがあり、考えや思いを伝え合う活動が必ず盛り込まれているという理由で、光村図書に決定してよろしいですか。

○委員

（はいの声）

○会長

それでは、国語については、光村図書に決定することを確認いたします。

〇会長

それでは、小委員長より「書写」の教科書見本本の調査研究結果について報告をお願いします。

〇小委員長

小学校「書写」小委員会の 洞爺湖町立とうや小学校校長の山下文人です。よろしくお願いいたします。

小学校「書写」小委員会では、3者の教科書見本本について、調査研究を行いました。

はじめに、「取扱内容」について報告します。

学習指導要領の目標や内容等に基づく学習活動について説明します。書写においては、「硬筆」、「毛筆」、「硬筆と毛筆の関連」の3つの観点において調査研究を進めました。

東京書籍の「硬筆」については、第1、2学年において、とめ・はね・はらいなどの点描の書き方に気をつけて書いたり、整った文字を書くための書き方を考えたりする活動を通して、点描の書き方や文字の形に注意しながら筆順に従って丁寧に書く学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。

教育出版の「毛筆」については、第3、4学年において、横画や縦画の筆使いに気を付けて書いたり、点画の接し方と間隔を考えて書いたりする活動を通して、毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書く学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。

光村図書の「硬筆と毛筆の関連」については、第5、6学年において、毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く活動を取り上げ、筆順と画の付き方を意識して書いたり、文字と文字のつながりを考えて書いたりする学習活動を通して、目標を達成できるようになっています。

次に、「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応等」について説明します。

教育出版については、各学年の「めあて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、それぞれの学年のテーマを参考にしながら考えたり確かめたり話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。

光村図書については、「ねらい」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、穂先がどこを通るか考えたり、文字と文字のつながりが感じられる理由を話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。

次に、「内容の構成・排列」について報告します。

東京書籍の「内容の構成・排列」については、第4学年において、毛筆について1字の漢字の画の長さと間隔、方向を確かめた後に、2字の漢字の筆順と字形、漢字の組立て方を考えながら書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

最後に、「使用上の配慮」について報告します。

「学習意欲を高める工夫」については、東京書籍では、第1学年で「もののかたちからできた漢字の話」を掲載し、第3学年で実験記録の書き方、第5学年でリーフレットの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載して、児童の学習意欲を高める工夫がなされています。

「主体的な学びへの工夫」については、教育出版では、身に付けた書写の力を学習活動等に生かす題材「レッツ・トライ」を全学年に掲載したり、多様な文字文化への関心を高める「知りたい文字の世界」を全学年に掲載したりするなどして、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされています。

「使用上の便宜」については、光村図書では、読みやすさを考慮して独自に開発したオリジナルの教科書体を全学年に使用したり、色覚の多様性に配慮し、誰もが識別できる配色にしたりするとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、全学年に二次元コードを掲載し、筆使いを確かめる動画やアニメーションを活用できるようにするなどの使用上の便宜が図られています。

以上で、「書写」小委員会の報告を終了します。

○会長

ありがとうございました。ただいま、小委員長より報告をいただきましたが、委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

○委員

使用上の便宜について、東京書籍と教育出版はユニバーサルデザインフォントを使用し、光村図書ではオリジナルの教科書体を使用しているという特徴がありますが、実際に教員が使用する際の使いやすさの特徴があれば教えてください。

○小委員長

3者どれもわかりやすく、字がどちらに流れているかはっきり見えるように工夫されています。指導者にとっても指導しやすいように思います。

○会長

ご苦労様でした。それでは、お引き取り下さい。

それでは、ただいまの報告と質問に対する回答を踏まえながら1者選定に関する協議を行いたいと思います。皆様方から御意見をお伺いしたいと思います。

○委員

筆運びの動画や文字の組み立てのアニメーション等の QR コンテンツが豊富である光村図書を推薦したいと思います。

○会長

現行の光村図書が良いのではないかという御意見がありましたけれどもよろしいでしょうか。

〇委員

（はいの声）

〇会長

それでは、光村図書ですが、学習過程を分かりやすく示し掲載したり、教材ごとに学習内容についての自己評価欄を設けたりするなど、児童が主体的に取組むことができる工夫がされているという理由から光村図書としてよろしいですか。

〇委員

（はいの声）

〇会長

それでは、書写については、光村図書に決定することを確認いたします。

それでは、小委員長より「社会」の教科書見本本の調査研究結果について報告をお願いします。

〇小委員長

「社会」小委員会委員長の 安平町立早来学園校長山田誠一と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

「社会」の教科書見本本の調査研究の報告書に基づき説明させていただきます。

小学校「社会」小委員会では、3者の教科書見本本について調査研究を行いました。

始めに「取扱内容」について報告します。

学習指導要領の目標内容等に基づく学習活動について説明します。

地域社会に関する学習に関しては、3者とも、第3学年では学校周辺から徐々に広範囲を調べる体験活動から始まり、地域で働く人を実際に取材したり、自分たちの住む地域のこれからについて考えて話し合ったりする学習が取り上げられています。

防災に関わる第4学年の学習では「風水害」「公助・共助・自助」については東書、「地震」「水害」の選択制が教出、「風水害、地震、津波、火山、雪」について日文が取り上げており、各者の特色が表れています。

第5学年の工業生産に関しては「生産・流通面の工夫」が東書、「環境への配慮」が日文、「女性や障がいのある人の労働環境作り」が教出と各者の特色が表れています。

第6学年の我が国の歴史に関する内容については、学習のまとめの我が国の未来への展望の領域において、「防災・感染症」が日文、「地球環境問題」が東書、「文化財の継承」が教出と各者の特色が表れています。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について説明します。

第3学年の「安全な暮らしを守る」学習では、地域の安全を守ることに関して自分たちにできることを話合い、東書では「標語を作る」、教出では「安全マップを作る」、日文では「自らを守る危機管

理能力の育成」と各者の特色が表れています。

第6学年の「国際社会における我が国の果たす役割」については各者とも SDGs の視点からの課題把握、調査、話合い活動を行い、考えを深める活動が取り上げられています。

次に、「内容の構成・排列」について報告します。

第3学年の「地域に見られる仕事」では、各者ともお店で働く人を取り扱うとともに、地域の実態に応じて工場で働く人、農家の仕事から選択する東書、農家の仕事を選択とする日文と各者の特色が表れています。いずれも、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

第6学年の「生活と政治」では、日本国憲法と政治の仕組を取り上げるとともに、教出は「災害と政治」「雪と政治」からの選択、東書は「子育てと政治」「震災と政治」からの選択、日文は「災害からの復興」「経験を生かすまち作り」からの選択と各者の特色が表れています。

最後に、「使用上の配慮等」について報告します。

東京書籍では、第5学年の「寒い土地のくらしにかかわる学習」において、札幌市の雪対策と雪を生かした観光について掲載したり、第6学年でアイヌの人たちの伝統や文化を守る取組を写真等で掲載したりするなど、児童の学習意欲を高めるための工夫がなされています。また、随所に親しみやすいキャラクターを目印にし、社会的な見方・考え方を働かせることで、深い学びが実現できる工夫がなされています。学習場面に応じた学び方について理解できるよう「まなび方コーナー」で具体的に示しているなどの特徴が見られます。

教育出版では、第5学年の「寒い土地の暮らしに関わる学習」において、北海道の観光や農業、漁業、アイヌ文化について掲載したり、第6学年で札幌市の雪対策を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされています。また、すべての見開きページにインデックスを設けることで学習の流れの現在地を把握しやすくする工夫がされたり、6学年においては白黒写真を AI 技術を駆使しカラー化した資料を掲載することで児童に興味をもたせる工夫がなされています。

日本文化図書では、第4学年の「地域の発展に尽くした人々にかかわる学習」において、日本初の女医である荻野吟子が活躍したせたな町の事例を掲載したり、第5学年の「寒い土地の暮らしにかかわる学習」において、寒さや雪を防ぐ工夫をしている旭川市の事例を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされています。SDGs と関連のある現代的な諸課題について、地域の対応や取り組みを紹介し、目標シール（全学年）を用いた主体的な学習を促す工夫がされています。

以上で、「社会」小委員会の報告を終了します。

○会長

ありがとうございました。ただいま、小委員長より報告をいただきましたが、委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

○委員

特に北海道を取り上げて作られている教科書はありましたか。

〇小委員長

3者ともアイヌの人たちの歴史、文化及び先住民族としての権利を丁寧に取り上げています。また、北方領土についても我が国の領土であり、状況が未解決であることを取り上げています。

〇委員

胆振について取り上げている教科書はありましたか。

〇小委員長

胆振の文化遺産について取り上げている会社もありました。

〇委員

胆振の5大遺産、特に胆振管内で進めているジオパークや縄文の文化のことを取り上げている教科書はありましたか。

〇小委員長

ウポポイは3者とも取り上げておりましたが、ジオパークについては、取り上げている教科書はなかったと思います。

〇会長

ご苦労様でした。それでは、お引き取り下さい。

それでは、ただいまの報告と質問に対する回答を踏まえながら1者選定に関する協議を行いたいと思います。皆様方から御意見をお伺いしたいと思います。

〇委員

調べたり考えたりする力が身につくよう設計がなされ、関心や意欲に応じて活用ができるもっと知りたい学びの手引きが随所に設けられている教育出版を推薦したいと思います。

〇会長

ただいま、現行の教育出版で良いのではないかという御意見がありましたけれども他に御意見がないようでしたら、自然災害にかかわる学習において、北海道の地域特性を考慮した内容を取り上げるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされているという理由で教育出版に決定してよろしいですか。

〇委員

（はいの声）

〇会長

それでは、社会については、教育出版に決定することを確認いたします。

それでは、小委員長より「地図」の教科書見本本の調査研究結果について報告をお願いします。

〇小委員長

小学校「社会　地図」小委員会委員長の登別市立幌別西小学校教頭、立石晃です。それでは、早速説明させていただきます。

小学校「社会」の地図見本本について、調査研究の報告書に基づき説明します。

小学校「社会　地図」小委員会では、2者の地図見本本について調査研究を行いました。

学習指導要領の目標、内容等に基づく学習活動として、東京書籍では、「地図帳の使い方」において、方位磁針を用いて身近な方位を調べたり、地図のきまりを使った地図作りに取り組んだりする活動。「日本の全図」において、日本の東西南北端を調べたり、都市と都市との間の距離を調べたりする活動。「日本の地方図」において、本州から九州へ渡る交通路を調べたり、北陸地方の伝統工芸を読み取ったりする活動、帝国書院では、「地図帳の使い方」において、縮尺を用いて実際の距離を調べたり、方位や地図記号などを用いて宝探しに取り組んだりする活動。「日本の全図」において、富士山がある県を調べたり、東北地方の大きな祭りや伝統行事を調べたりする活動。「日本の地方図」において、中国地方で一番高い山の高さを調べたり、沖縄島で栽培されている果物を読み取ったりする活動がそれぞれ取り上げられています。

続いて、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、東京書籍では、日本列島全体の災害地図を掲載し、災害の起きる要因や防災対策について考察したり、日本と世界の歴史地図を掲載し、同時代の世界の様子を参照しながら学びを深めたりする活動、帝国書院では、「防災マップ」の具体的な作り方を掲載し、自らの身を守るために何ができるかを考えたり、比較・関連させて考察できる資料を掲載し、社会的な見方・考え方を働かせたりする活動がそれぞれ取り上げられています。

次に、「内容の構成・配列」について報告します。

東京書籍では、「日本の各地の気温と降水量」や「地域による農業生産のちがい」など、各種の基礎的な資料を掲載し、基礎的かつ基本的な知識・技能を活用して課題を追究できるような工夫、帝国書院では、「江戸時代の結びつき」や「日本の世界遺産」など、歴史の学習で活用できるテーマ地図や資料図を掲載し、歴史事象を地理的な空間の広がりと結び付けることで深い学びを実現できるような工夫がされています。

最後に、「使用上の配慮等」について報告します。

東京書籍は、冒頭の世界地図に世界の国の「ありがとう」の言葉などを掲載したり、日本地図に、各都道府県からイメージされる特産品などのイラストを掲載したりするなど児童の学習意欲を高める工夫がなされています。

帝国書院は、「トライ」「地図マスターへの道」を設けたり、巻末に「地図マスターへの道」のまとめを掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことが出来るような工夫がなされています。

使用上の便宜においては、両者とも全ての児童にとって、読みやすいフォントになるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、地形がわかるドローン動画を活用できるようにするなどの便宜が図られています。

以上で、小学校「社会　地図」小委員会の報告を終了します。

○会長

ありがとうございました。ただいま、小委員長より報告をいただきましたが、委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

○委員

胆振の遺産である、むかわ竜、炭鉄港、縄文遺跡、ジオパーク等は地図上に記載はありましたか。

○小委員長

東京書籍では、北海道地図のページにおいて、アイヌ語地名について7ヶ所記載されており、洞爺湖有珠山ジオパークの記載がございました。

帝国書院は、北海道地図のページにおいて、アイヌ語地名について12ヶ所記載されており、北黄金貝塚、洞爺湖有珠山ジオパーク、入江・高砂貝塚の記載がございました。

○会長

ご苦労様でした。それでは、お引き取り下さい。

それでは、ただいまの報告と質問に対する回答を踏まえながら1者選定に関する協議を行いたいと思います。皆様方から御意見をお伺いしたいと思います。

○委員

地図の学習の中で、帝国書院では、縮尺を用いて実際の距離を調べたりする点は子どもたちが非常に苦手としている部分で、そこをしっかりと取り上げているといった理由で、子どもたちの学習にふさわしいと思うので帝国書院を推薦します。

○委員

北海道のアイヌ語地名についても詳しく取り上げられているのは帝国書院で、モルエラニは室蘭、トマクオマナイは苫小牧という記載もありますので、帝国書院を推薦します。

○会長

帝国書院という意見が続いておりますので、そのように進めてよろしいでしょうか。

〇委員

（はいの声）

〇小委員長

それでは、地図については、国内における北海道の位置関係、北海道全体の地形や主な産業、交通網の様子などを掲載し、北海道の地域特性を考慮した内容を取り上げるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされているという理由で帝国書院としてよろしいでしょうか。

〇委員

（はいの声）

〇会長

それでは、帝国書院に決定することを確認いたします。

それでは、小委員長より「算数」の教科書見本本の調査研究結果について報告をお願いします。

〇小委員長

小学校「算数」小委員会委員長の厚真町立上厚真小学校長の清水です。

小学校「算数」の教科書見本本の、調査研究の報告書に基づき、説明させていただきます。

小学校「算数」小委員会では、6者の教科書見本本について調査研究を行いました。

はじめに、「取扱内容」について報告します。

「取扱内容」の「学習指導要領の目標、内容等に基づく学習活動」について、5つの領域の中で、特に「数と計算」について、報告いたします。

東京書籍については、第1学年において、絵を見てひき算の話を作る活動を通して、整数の加法や減法の意味を理解するとともに、計算の仕方を考える力を育成する学習活動が取り上げられています。

教育出版については、第4学年において、ペットボトルに入った水の量の表し方を考える活動を通して、小数や分数の意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する学習活動が取り上げられています。

啓林館については、第1学年において、木に残った柿の数を求めたりする活動を通して、整数の加法や減法の意味を理解するとともに、計算の仕方をも考える力を育成する学習活動が取り上げられています。

「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応等」について、報告いたします。

東京書籍については、第5学年において、立体図形の体積の学習において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、考えを図や式を使って書いたり、考えの相違点について話し合い、まとめたりすることで、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。

学校図書については、第6学年において、比例の学習で学習課題を設定し、見通しを持たせると

ともに、比を用いて必要な数量を求める方法などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。

啓林館については、第5学年において、小数の乗法の学習において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、計算の方法について考え、考えのよいところや共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。

次に、「内容の構成・配列、分量等」について、報告します。

内容の構成・配列について、大日本図書は、第3学年で、分数の意味と表し方の学習において、分数の大小や仕組みの学習の後に、整数と同様に加法の計算ができることを取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

日本文教出版では、第5学年において、平面図形の性質の学習で、合同な三角形や四角形を書く活動を取扱い、その後で、合同な正三角形や円、菱形の書き方を考える学習を扱うことで、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

最後に、「使用上の配慮事項等」について報告します。

「学習意欲を高める工夫」について、学校図書は、全学年において、児童が身に付けた「見方・考え方」を使いたくなるように「考え方モンスター」として紙面に具現化したり、これまで学んできたことを使ってSDGsに関連した内容に取り組めるように「算数をつかって」を設定したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされています。

「主体的に学習に取り組むことができる工夫」について、教育出版は、全学年で、身近な題材から算数の問題を発見し，目的意識を持って数学的活動に取り組めるよう単元の導入を工夫したり、学習したことを日常場面に活用し、「何ができるようになったか」が実感できる様な単元末の活動を設定したりするなど、主体的に学習等に取り組めるような工夫がなされています。

「使用上の便宜」について、東京書籍と啓林館、大日本図書はA4判、日本文教出版がB5判になっておりますが、第1学年の第一分冊にノートの機能を揃えるなど、使用上の便宜が図られています。

以上、報告いたします。

〇会長

ありがとうございました。ただいま、小委員長より報告をいただきましたが、委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

〇委員

各教科書会社で、特に高学年で合本になっている会社となっていない会社がありますが、早来学園のように小中一貫校のことを考えていくと、高学年と中学を一緒にしながらカリキュラムを組むという学校がありますが、使いやすさとしては、どちらが使いやすいとか小委員会で意見は出ましたでしょうか。

〇小委員長

小委員会でも合冊と上下巻になっているものについて意見が出ておりました。それぞれメンバーの中でもどちらが良いかそれぞれの立場で意見が異なりましたが、教育課程を考慮すれば合冊のほうがやりやすいでしょうし、取扱いという面でいえば上下巻のほうが扱いやすいという意見もあり、なにをもってよしとするかによって意見がわかれました。

〇委員

各者 QR コードがついていますが、内容についてどのような違いがありますか。

〇小委員長

QR コードについては、どの会社も今使っている教科書と比べて、かなり工夫がなされている印象を受けました。内容はそれぞれかなり違いがあったと思います。QR コード、デジタル化したことだけではなく、教科書全体の編集の趣旨も関わっているので、QR コードの中身だけを取り上げて、どうかと言われると判断は難しいです。

QR コードを読んでみて、中身が枝分かれしているものもありますし、1 個の QR コードで一つのコンテンツになっているものもあり、学習のさせ方や QR コードを授業中に使うのか、自学に使うのか、使わせ方によっても判断が異なり、教科書全体の使い方とリンクさせて考える必要があると思います。

〇委員

シールをはがしたり、切り取って使うなどの教材の分量にずいぶんと各者で違いがあると感じました。ある出版社では分度器がついていたり、教える先生方にとって、その取扱いはどうでしょうか。

〇小委員長

ある・なしでどちらが良いかと言われますと、使う・使わないは別として、あることは良いことだと思います。ただ、使い方については、様々な指導方法や組み合わせがありますので、どう使うのか難しいという意見が出ておりました。

〇会長

ご苦労様でした。それでは、お引き取り下さい。

それでは、ただいまの報告と質問に対する回答を踏まえながら 1 者選定に関する協議を行いたいと思います。皆様方から御意見をお伺いしたいと思います。

〇委員

東京書籍は、学習事項を振り返り、先を考えたりする力を身につけさせる工夫がなされていること、また、苫小牧市が啓林館から東京書籍へ移行したこともありまして、先生の人事異動に伴いスムー

ズな算数の準備に取り組めるということからも東京書籍を推薦します。

〇委員

啓林館に変わったのはいつでしょうか。

〇会長

前回の採択時に、室蘭市が第10採択地区へ加入し、室蘭市としては啓林館を継続、第10採択地区としては啓林館へ変更となっております。

〇委員

啓林館の算数の教科書は小学校の先生にとっては難しい、扱いづらいという話もあります。中学校の理科、数学の教員にとって、啓林館の教科書が扱いづらいという話は聞きません。算数・数学について特化した啓林館の教科書に慣れ親しんでいただくことも小学校の先生方には必要だと考えています。

〇委員

比較的転出入の交流のある苫小牧市との関わりも配慮すべきという考え方もわかりますが、小学校と中学校の継続性を考えたときに啓林館のまま採択していただけるとありがたいと考えます。

〇委員

小学校と中学校の連続性を考えたときには、出来るだけ教科書会社が変わらない方が良いと思います。

小学校と中学校で違う教科書会社になっても良いとは思いますが、9年間のまとまりを考えていくと教科書会社を揃えていくのが必要で、もし変えるのであれば小中で揃えて変えていくという考え方が必要だと思います。

〇会長

考え方として、今年の採択状況を踏まえながら、来年の中学校の採択に繋げていくという考え方については、みなさん問題ないんじゃないかと思います。

今、現実的にどこの会社を採択していくかというところですが、御意見としては東京書籍という御意見もあり、このまま現状で良いという意見がありますが、他にありますでしょうか。

〇委員

中学校の理科で、一番良いと思うのは啓林館ですが、小学校の先生から啓林館の小学校の教科書は難しいとよく聞いていました。内容が、課題があってまとめもしっかりされていますが、その間の部分が手厚くなく、難しい。小学校で考えるのであれば啓林館ではない方が良いと思います。苫

小牧市との関連で東京書籍か、内容では教育出版も充実していると思います。小学校の算数は啓林館から変えて、理科は中学校のことも考慮して啓林館のほうがいいんじゃないかと思います。

〇会長

今はあくまでも小学校の採択ですので、中学校には入っていけませんが、意見としては、啓林館から変えた方が良いということでよろしいでしょうか。

〇委員

在外教育施設で使っている教科書は全国シェア一位の教科書を使用しており、以前は東京書籍だったため、一つの観点としてそういう視点もありだと思います。

〇会長

今、いろいろな意見が出ております。東京書籍に変える、そのまま啓林館、教育出版も良いという意見が出ております。

まず、啓林館を継続するのか、変えていくのかということをまず決めて、もし変えるのであればどこの会社にするのかという順でいきたいと思いますがよろしいでしょうか。今までは、前回採択したものをベースにしながらやってきておりますので、同じような進め方であれば、もう少し皆様で啓林館を継続していくのか、ここで変えていくのか、御意見をいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

〇委員

啓林館をどうしても変えなければならない大きな理由があれば変えても良いと思いますが、そこまでに至らないのであれば、啓林館のままで良いと思います。

〇委員

校長先生へ聴き取りをしましたが、現場の声は、啓林館は小学生にとって高度で教えにくいという声でした。そのため、東京書籍を推薦します。

〇会長

１０年間の学習指導要領が数年後に改訂され、そこが非常大きなポイントとなりますが、今回の教科書の改訂は、１０年間に１回の学習指導要領のちょうど折り返し、後半部分に入っていくにあたっての改訂という位置付けだと思います。現行の学習指導要領の中で、今の啓林館の使用に関わって大きな課題があるという認識があれば、残り半分とはいえ変えていくことは、やぶさかではないと思いますが、残りをこのままでいくのか、改めて仕切り直していくのかというところでの意見をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〇委員

それぞれの委員の皆様からの指摘はもっともだと思います。先生方からは啓林館は使いにくさや指導の難しさの指摘はあがっておりましたが、この教科書で学習指導で大変困るという意見は出ておりません。継続性の問題を考えると変えるほどの説得力のある違いはないと感じておりますので、啓林館を継続で良いと思います。

〇委員

啓林館は内容的には難しいですけれども、よりレベルの高いところを目標としてやる方が子どもにとっては良いのではないかと思います。

〇会長

これまでのお話の流れからいきますと、現状の啓林館を継続という方向だと思いますが、よろしいでしょうか。

〇委員

（はいの声）

〇会長

それでは、算数については、基礎、基本の定着を図る学習活動や自主的に取組むことができる内容を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされているという理由で啓林館に決定してよろしいでしょうか。

〇委員

（はいの声）

〇会長

それでは、啓林館に決定することを確認いたします。

それでは、小委員長より「理科」の教科書見本本の調査研究結果について報告をお願いします。

〇小委員長

小学校「理科」小委員会委員長の室蘭市立地球岬小学校校長の森晶子です。

小学校「理科」の教科書見本本について、調査研究の報告書に基づき説明します。

小学校「理科」小委員会では、5者の教科書見本本について調査研究を行いました。

はじめに「取扱内容」について報告します。

学習指導要領の目標内容等に基づく学習活動について、東京書籍については、第3学年において、粘土やアルミニウム箔の形を変えて重さを調べる実験やソーラークッカーを作るものづくりなど

の活動を通して、差異点や共通点を基に、問題を見出すという問題解決の力を養う活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。

学校図書については、第4学年において、石けん水のまくの様子を基に試験管中の空気の体積の変化を調べる実験や乾電池で走る車を作るものづくりなどの学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。

大日本図書については、第5学年において、コーヒーシュガーを溶かした後の様子を調べる実験や、電磁石を利用した魚つりゲームを作るものづくりなどの活動を通して、予想や仮説を基に、解決の方法を発想するといった問題解決の力を養う学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。

次に、主体的・対話的で深い学びの実現に資する対応等について

東京書籍については、第6学年の「てこのはたらきとしくみ」において、問題を見いだし、見通しをもたせるとともに、てこが水平につり合うときのきまりについて調べ、実験データを基にてこのつり合いについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

啓林館については、第5学年の「電流と電磁石」において、問題を見いだし、見通しをもたせるとともに、電磁石の性質について調べ、電磁石と棒磁石の違いについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

教育出版については、第4学年の「電流のはたらき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、乾電池 2 個のつなぎ方と回路に流れる電流の大きさについて調べ、直列つなぎのときと並列つなぎのときの回路に流れる電流の大きさについて話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。

次に、「内容の構成・排列」について報告します。

教育出版は、第 6 学年の「月の見え方と太陽」では、月の満ち欠けの原因について、観察から得られた月と太陽の位置関係を基に、推論しながら調べられるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

また、第 6 学年の「土地のつくり」の単元において、北海道の昭和新山のできる前後や現在の様子の写真や化石の写真等が掲載されています。

啓林館は、第5学年の「雲と天気の変化」では、「天気と雲のようす」を学習した後に、台風など季節によって変わる天気について考えられるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

また、第6学年の「大地のつくりと変化」において、火山灰を噴き上げる有珠山や火山活動のくぼ地にできた湖である洞爺湖、昭和新山や厚真町の山くずれなど胆振地方の山や湖の写真が掲載されています。

大日本図書は、第4学年の「天気と気温」の単元において、旭川市の雲の写真が、第5学年の「天気の変化」「流れる水のはたらきと土地の変化」の単元において、喜茂別町や別海町で撮影された雲の写真と上川郡清水町ペケレベツ川が掲載されています。

最後に、「使用上の配慮等」について報告します。

学校図書は、単元の導入において、冷蔵庫を使用している様子などの日常生活と関連付けた写真を掲載していたり、「もっとしりたい」において、暮らしや仕事との関連を取り上げ、理科を学ぶ意義を実感できるようにしたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされています。

啓林館は、 単元の導入において、観察する児童の豊かな表情の写真を掲載したり、「くらしとリンク」において、身近な生活との関連を取り上げ、理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり、学習意欲を高める工夫がなされています。

東京書籍は、ユニバーサルフォントを採用したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、二次元コードを掲載し、読み物資料で児童の興味・関心を広げるなど、使用上の便宜が図られています。

以上で、「理科」小委員会の報告を終了します。

〇会長

ありがとうございました。ただいま、小委員長より報告をいただきましたが、委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

〇委員

子どもたちに科学をする心を育てやすいと思った会社はどこでしょうか。

〇小委員長

どれもそれぞれの特色があって良いと思いますが、指導者側として使いやすいというのと子どもが興味や関心を持って次々開いていくというのは違うと思います。

カラフルで色彩が鮮やかで目に飛び込んでくる教科書があったので、これは子どもたちが好きだと思います。

どこを調べたいか、調べやすい工夫がされている会社が複数ありました。その単元がどこにあるかなど、小委員会で調べるときにもわかりやすかったので、子どもたちにもそれは同じではないかと感じました。

〇会長

ご苦労様でした。それでは、お引き取り下さい。

それでは、ただいまの報告と質問に対する回答を踏まえながら1者選定に関する協議を行いたいと思います。皆様方から御意見をお伺いしたいと思います。

〇委員

実験や観察の進め方が大変丁寧に記載されているため、現在使われている東京書籍を推薦します。

〇会長

それでは、理科については、学習課題を設定し見通しを持たせるとともに、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられるなど、子どもたちが主体的・対話的に学びに向かうことができるよう工夫がなされているという理由で東京書籍としてよろしいでしょうか。

〇委員

（はいの声）

〇会長

それでは、理科については、東京書籍に決定することを確認いたします。

それでは、小委員長より「生活」の教科書見本本の調査研究結果について報告をお願いします。

〇小委員長

小学校「生活」小委員会長の壮瞥町立壮瞥小学校長宮村直人です。

小学校「生活」の教科書見本本の調査研究の報告書に基づき説明させていただきます。

小学校「生活」小委員会では、6者の教科書見本本について調査研究を行いました。

はじめに、「取扱内容」について報告します。

まず、学習指導要領の目標、内容等に基づく学習活動について説明します。

「身近な人々、社会及び自然と関わる活動」について、光村図書では、1 学年においてモルモットを飼育したり、2 学年では風やゴムで動くおもちゃを製作したりする活動が取り上げられています。

学校図書では、1 学年において、アサガオを栽培し観察したり、2 学年では回したり、吹いたりして動くおもちゃを製作したりする活動が取り上げられています。

次に、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について説明します。

東京書籍では、上下巻を通じて成長する挿絵の登場人物を活用して学びの姿を具体的に示すとともに、上巻末では紙面で見るよさを生かした「ほんとうのおおきさいきものずかん」や、上下巻末では学び方をまとめた「かつどうべんりてちょう」を掲載するなどの工夫をしています。

教育出版では、単元とびらに経験や意欲を喚起する「わくわくスイッチ」を設けたり、学習のめあてをつかむことができるように、小単元名の前に「サイコロ」を掲載したり、気付きを促す「はっけんロード」と「はてな」を掲載するなどの工夫をしています。

次に、内容の構成・排列について報告します。

内容の構成・排列において、啓林館では、生活科の学びと中学年以降の学びのつながりを図るために、「3 年生へのステップブック」の資料単元を設け、中学年以降の教育との接続を図る工夫がされています。

最後に、使用上の配慮事項について報告します。

学習意欲を高める工夫において、大日本図書では、児童の目線に立ったダイナミックで躍動感のある活動写真やイラストを掲載したり、活動の視点を示唆するためにビンゴカードを活用したりする

など、児童の学習意欲を高める工夫がなされています。

主体的な学習への工夫において、学校図書では、単元の導入で自分の思いや願いをもたせる言葉を掲載したり、単元の終末に「もっと〇〇したい」を掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことが出来るような工夫がなされています。

使用上の便宜について、光村図書では、読みやすさを強調して作られたユニバーサルデザイン書体を使用したり、カラーユニバーサルデザインの観点から専門家の校閲を受けたりするなどの使用上の便宜が図られています。

また、すべての発行者において、二次元コードを活用し、１人１台端末を活用した学習活動が行えるよう使用上の便宜が図られています。

以上で、「生活」小委員会の報告を終了します。

〇会長

ありがとうございました。ただいま、小委員長より報告をいただきましたが、委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

〇委員

北海道とかかわりのある内容について取り上げている教科書はありましたか。

〇小委員長

北海道について取り上げている教科書は4者あり、季節の行事として「さっぽろ雪まつり」を取り上げるなど、季節ごとの行事への関心を高める工夫がなされています。

〇会長

ご苦労様でした。それでは、お引き取り下さい。

それでは、ただいまの報告と質問に対する回答を踏まえながら１者選定に関する協議を行いたいと思います。皆様方から御意見をお伺いしたいと思います。

〇委員

生活は社会との関連性もありますので、現行の教育出版が良いと思います。

〇会長

それでは、生活は、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、プログラミング的思考能力を育成する工夫がなされているという理由で、教育出版としてよろしいでしょうか。

〇委員

（はいの声）

〇会長

それでは、生活については、教育出版に決定することを確認いたします。

それでは、小委員長より「音楽」の教科書見本本の調査研究結果について報告をお願いします。

〇小委員長

小学校音楽小委員会委員長の豊浦町立豊浦小学校長の小山彰です。

小学校音楽の教科書見本本について、調査研究の報告書に基づき説明いたします。

まず、はじめに、発行者数についてです。

小学校音楽小委員会では、教育出版社、略称、教出と、教育芸術社、略称、教芸の2者の教科書見本本について、取扱内容、内容の構成・排列、使用上の配慮等について調査研究を行いました。

次に「取扱内容」について報告いたします。

学習指導要領の目標内容等に基づく学習活動のうち、音楽づくりについては、教出では、第5、6学年において、和音に合わせて旋律をつくったり、音の重ね方、強弱、速さなどを工夫したりして音楽をつくる活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。

教芸では、第5、6学年において、打楽器の音色や音楽の仕組みを生かしてリズムアンサンブルをつくったり、旋律をつなげたり重ねたりして音楽をつくる学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、

教出では、第6学年において、「アンサンブルのみりょく」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、交響曲の鑑賞の後に、思いや意図を大切にしながらみんなで表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする学習へと対応しています。

教芸では、第5、6学年において、「詩と音楽との関わりを味わおう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本歌謡の鑑賞の後に、曲想を感じ取って、思いが伝わるように歌うなど、考えを広げたり、深めたりする学習へと対応しています。

次に、「内容の排列・構成・分量等」について報告いたします。

内容の排列・構成について、

教出では、第6学年で、日本の民謡を調べる学習の後に、旋律の感じを生かして民謡を歌う学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

教芸では、第5学年で、日本の旋律の美しさを味わいながら歌う学習の後に、日本の民謡を調べる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

口頭で内容の分量について報告します。

教出では、前回と比べて、第1，2学年で約3パーセントの増、第4、6学年で約5パーセントの増、第5学年で約2パーセントの増、第3学年で前回と同様になっています。

教芸では、前回と比べて、全ての学年において前回と同様のページ数になっています。

続いて、「使用上の配慮等」について報告いたします。

教出では、第3学年以上で、折り込みを使ったワイドな誌面で、歌詞に忠実な写真を掲載したり、第1、2学年で即興的に表現する活動を取り入れたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされています。

教芸では、全学年で、学習をサポートする写真やイラストを掲載したり、ナビゲーターのキャラクターを取り入れたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされています。

最後に、北海道と関わりのある内容について報告します。

教出では、北海道民謡のソーラン節などを取り扱っています。

教芸では、アイヌ古式舞踊やアイヌの伝統楽器などを取り扱っています。

以上で小学校音楽小委員会の報告を終了いたします。

○会長

ありがとうございました。ただいま、小委員長より報告をいただきましたが、委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

○委員

教育出版では、学習内容が数パーセント増えていますが、内容が増えた意図というのはどのようなことを感じましたか。

○小委員長

数パーセント、ページにすれば5ページ程度ということで大きな差はないものと考えております。

○会長

ご苦労様でした。それでは、お引き取り下さい。

それでは、ただいまの報告と質問に対する回答を踏まえながら1者選定に関する協議を行いたいと思います。皆様方から御意見をお伺いしたいと思います。

○委員

両者とも学習指導要領によって企画・製本されていますので、特に問題がなければ、現行の教育出版が良いと思います。

○会長

特に大きな指導上の課題がなければ継続でという意見ですがよろしいでしょうか。

○委員

（はいの声）

〇会長

それでは、教材曲や学習活動に則した解説を示したり、北海道に関わりのある民謡を取り上げるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされているという理由で教育出版としてよろしいでしょうか。

〇委員

（はいの声）

〇会長

それでは、音楽については、教育出版に決定することを確認いたします。

それでは、小委員長より「図画工作」の教科書見本本の調査研究結果について報告をお願いします。

〇小委員長

小学校「図画工作」小委員会委員長の登別市立鷲別小学校長の久葉忠男です。

小学校「図画工作」の教科書見本本の調査研究の報告書に基づき説明させていただきます。

小学校「図画工作」小委員会では、開隆堂と日本文教出版の2者の教科書見本本について調査研究を行いました。

はじめに、「取扱内容」について報告します。ここでは、「絵や立体、工作に表す活動」と「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」について報告します。

「絵や立体、工作に表す活動」については、開隆堂では、第1、2学年、「形や色、紙の貼り方を工夫して、おめんを作る」活動、第3、4学年、「いろいろな布の形や色から作りたいものを考える」活動、第5、6学年、「季節を感じて表したいことや表し方を考え、絵に表す」活動など、日本文教出版では、第1、2学年、「楽しかったことや頑張ったことをねん土で表す」活動、第3、4学年、「空き容器を組み合わせて生活で使えるものを作る」活動、第5、6学年、「材料の質感を感じながら組み合せて絵に表す」活動、などの学習活動を取り上げ、目標を達成できるにしています。

次に、「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、どの学年においても、活動が設定されており、第5、6学年を例に示すと、開隆堂では、「学校おすすめガイド」の題材において、「自分の目で見た学校の素敵なものを友達に紹介しよう」を学習課題に設定し、見通しをもたせるとともに、自分がおすすめしたいものを考え、友だちと話し合い、学校のいろいろなよさを絵に表し交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動、日本文教出版では、「自然を感じるすてきな場所で」の題材において、「自然の材料・場所・ひらめきで、素敵な空間をつくろう」を学習課題に設定し、見通しをもたせるとともに、自然の材料の形や色の特徴を考え、友だちと話し合い、場所をどのようにつくりかえるかを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動などの学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしています。

次に「内容の構成、排列」について報告いたします。

内容の構成、排列については、両者とも、材料や方法など、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成しており、開隆堂では、草花、枝、ビニルひもを使った造形遊び、箱、花、学校などを絵や立体などに表す活動を取り上げ、日本文教出版では、砂や土、ひも、花、枝や落ち葉を使った造形遊び、木や草花、段ボール、日常的に使う道具（ほうきやちりとり）などを絵や立体などに表す活動を取り上げ、発展的に学習できる工夫がなされています。

最後に、「使用上の配慮等」について報告します。

「学習意欲の工夫」と「主体的な学習への工夫」について報告します。

学習意欲を高める工夫については、開隆堂では、全学年で、地域の伝統文化や材料などを生かした造形活動を取り上げた「みんなのギャラリー」を掲載する、日本文教出版では、全学年で、全国のさまざまな造形活動や美術館の取組、伝統工芸、美術作品などを掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされています。

主体的な学習への工夫については、開隆堂では、見通しをもって学習することができるよう、全学年に「図画工作を学ぶ皆さんへ」を設けたり、6年間の成長を振り返ったり、中学校生活や将来の職業や生活について考えたりする「未来へつながる図画工作」を設けたりするなど、児童が主体的に取り組むことができる工夫がなされています。

日本文教出版では、見通しをもって学習することができるよう、全学年に「教科書の使い方」を設けたり、6年間の成長を振り返ったり、中学校生活について考えたりする「図画工作での学びをふり返ってみよう」を設けたりするなど、児童が主体的に取り組むことができる工夫がなされています。

以上で、報告といたします。

〇会長

ありがとうございました。ただいま、小委員長より報告をいただきましたが、委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

〇委員

図画工作は色使いが大事になってきますが、日文さんの方がやや光沢のある印刷になっていたと思いますが、子どもたちが使用する上で、小委員会で話題になったことはありますか。

〇小委員長

教科書の質や体裁については、小委員会では話題としてあがりませんでした。

〇会長

北海道の地域性や北海道に関わりのある内容は取り扱われておりますか。

〇小委員長

開隆堂では4点、札幌市のおおきなこどもにんぎょう、スライドマウンテン、雪の世界遺産、美唄市

の安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄、日本文教出版でも4点、札幌駅の妙夢、札幌芸術の森美術館のハロー！ミュージアム、糠平湖のアイスバブル、公益財団法人アイヌ民族文化財団蔵のアットゥシ、学年こそ違いますが、2者とも北海道の素材を4点取り上げております。

〇会長

ご苦労様でした。それでは、お引き取り下さい。

それでは、ただいまの報告と質問に対する回答を踏まえながら1者選定に関する協議を行いたいと思います。皆様方から御意見をお伺いしたいと思います。

〇委員

身近な素材を活用し、感性を磨き、可能性を広げる工夫が見られるということで、日本文教出版を推薦します。

〇会長

それでは、図画工作は、児童の学習意欲を高めるため、児童が実際に手や足を動かし試しながら発想を広げることができるなどの工夫がなされているという理由で日本文教出版としてよろしいでしょうか。

〇委員

（はいの声）

〇会長

それでは、図画工作については、日本文教出版に決定することを確認いたします。

それでは、小委員長より「家庭」の教科書見本本の調査研究結果について報告をお願いします。

〇小委員長

小学校「家庭」小委員会委員長の伊達市立東小学校教頭の加藤恭子です。

小学校「家庭」の教科書見本本について、調査研究の報告書に基づきご説明いたします。

まず、はじめに、発行者数についてです。

小学校「家庭」小委員会では、東京書籍と開隆堂の2者の教科書見本本について調査研究を行いました。

次に、「取扱内容」について報告します。

小学校学習指導要領「家庭」では、中学校技術・家庭科の内容との系統性や連続性を重視し、生涯にわたる家庭生活の基盤となる能力と実践的な態度を育成する観点から、小学校と中学校の内容構成が同一の枠組みで、3つの内容になっております。

その3つの内容ですが、「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」となっており

ます。

ただいま申し上げました学習指導要領の3つの内容に基づく学習活動について、説明を記載しております。2者ともに取扱内容に大きな違いはございません。

特徴的なこととして、2年間の学習の見通しを持たせ、系統的に知識・技能を学び、発展的に活用できるような工夫とともに内容の関連を図る学習の工夫がなされています。

「B衣食住の生活」については、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養うために、東京書籍では第6学年において、いろどりや味のバランスまで考えた1食分のこんだての立て方について学習する活動が取り上げられ、開隆堂では第6学年で調理の仕方、味のバランスまで考えた1食分の献立の立て方について学習する活動が取り上げられております。

また、「B衣食住の生活」と「C消費生活・環境」の関連を図った題材として、東京書籍では第5学年において環境や資源に配慮した住まい方について考える学習が取り上げられ、開隆堂では第5学年において環境に配慮した衣服の手入れや買い物について考える学習が取り上げられております。

また、家庭の学びが様々なSDGsと密接に結びついていることから、関係する具体例としてのSDGs に随所で触れられているほか、題材としても取扱いもございます。

東京書籍では、5年生の早い段階で題材として取り上げ、物やお金の使い方から持続可能な社会について考えさせ、SDGs の視点を持てるようにした上で、各題材の中で関連する SDGs の話題に触れられております。

開隆堂では、先に各題材の関連する具体的な内容のSDGsに触れておき、6年生の最後の題材で2年間の学習のまとめの視点として SDGs が取り扱われ、生活と環境の関係から持続可能な未来のためにできることを考えさせる学習となっています。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応では、両者ともに、自分自身の生活を見つめることを出発点として、学習過程全体を通して、話し合う、調べる、やってみるといった課題が適切に配置されており、他者と協力したり、交流したりしながら身に付けた知識・技能を自らの生活に生かし、深めていくという学習過程を3つのステップで行う内容となっております。

次に、「内容の配列・構成・分量等」について報告します。

東京書籍では、学習内容を15の大題材、45の小題材で構成し、開隆堂では、20の大題材、59の小題材で構成されております。

両者ともに、児童が達成感や実践する喜びを味わうことができるように、基礎的・基本的な知識及び技能を応用的な教材で活用するなど、系統的・発展的に学習することができるような工夫がなされています。

内容の分量について、東京書籍では、「A家族・家庭生活」は35ページ、「B衣食住の生活」は79ページ、「C消費生活・環境」は8ページ、「A家族・家庭生活及びB衣食住の生活」は19ページ、「B衣食住の生活及びC消費生活・環境」は9ページあり、「その他」はなく、総ページ数は150ページで、前回より約3%増となっています。

開隆堂の内容の分量については、「A家族・家庭生活」は32ページ、「B衣食住の生活」は64ページ「C消費生活・環境」は14ページ、「A家族・家庭生活及びB衣食住の生活」は0ページ、「B衣食住の生活及びC消費生活・環境」は26ページ「その他」は18ページあり、総ページ数は154ページで、前回より約12%増となっています。

最後に、「使用上の配慮等」について報告します。

両者ともに、全ての児童が学習しやすい手立てとして、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、読みやすいフォント、配色、デザインとなっております。特別支援教育・バリアフリーへの配慮として、調理・実習手順について一目で分かるよう見開きのデザインで統一されており、巻末には利き手をのせて練習ができる実物大写真が掲載されております。

学習意欲を高める工夫として、東京書籍では「プロに聞く!」、開隆堂では「キャリアインタビュー」として、衣食住の生活や消費・環境・地域の学習内容と密接にかかわる職業の方々から児童に向けたメッセージが掲載されております。また、二次元コードによる学習コンテンツとして、東京書籍では学習ステップに合わせ動画やワークシートなどが194、開隆堂では300を超える動画コンテンツや動作コンテンツが用意されております。

以上で、「家庭」小委員会の報告を終了します。

○会長

ありがとうございました。ただいま、小委員長より報告をいただきましたが、委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

○委員

SDGs の視点から考えたときに、どちらの教科書が SDGs の視点に触れられていますか。

○小委員長

量で言いますとさほど変わりません。ただ、大きく取り扱っている場所が違いまして、5年生の早い段階で扱っているのが東京書籍で、そこから各題材で SDGs に触れていくということになっています。

対しまして、開隆堂では、先に SDGs という言葉も出しながら各題材で扱っていて、6年生の題材で2年間のまとめをして、取扱いとしては、今まで学んだことの中から持続可能な未来のために出来ることを考えさせるという流れとなっています。

○委員

食育の視点についてどちらが深く掘り下げられていましたか。

○小委員長

給食など身近なものから取り扱っていたのが東京書籍で、伝統食も47都道府県取り扱っており

ました。開隆堂では、日本のものだけではなく海外の食品についても取り扱っておりました。

〇委員

教科書の分量も増えておりましたが、時数が変わらない中で、指導する側としては十分消化できそうでしょうか。

〇小委員長

指導者が取り扱いやすい工夫が両者で取られており、増えている部分というのが、個別最適な学びにも繋がっていくような資料の部分が多いです。

〇委員

2次元コード、QR コードの数を示していただきましたが、報告書では開隆堂の方は動画を見たり操作したりする学習活動と書かれていて、東京書籍では、情報モラルを含め興味を持って学べるとなっておりますが、情報モラルで興味を持つとは具体的にどういう内容でしょうか。

〇小委員長

道徳に限らず、他の教科との関連について触れられておりました。東京書籍では、デジタル思考ツール、思考の流れを整理するようなワークシートが豊富に入っておりました。開隆堂では、動作ツール、プログラミング的な思考と関わると思いますが、手順が並んでいて、その手順を入れ替えるような操作ができるようなものが入っておりました。動画以外では、QR コードで扱うコンテンツとしてそういった違いが見られました。

〇会長

ご苦労様でした。それでは、お引き取り下さい。

それでは、ただいまの報告と質問に対する回答を踏まえながら I 者選定に関する協議を行いたいと思います。皆様方から御意見をお伺いしたいと思います。

〇委員

ページ数が増えたことが気になっておりましたが、子どもたちが個別最適な学びについて、主体的に学べる部分が増えたということであれば、現状の開隆堂が良いと思います。

〇会長

それでは、家庭は生活のさまざまな場面を想起することができることや家庭学習へつなげたりすることができる内容の掲載がされており、児童が主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされているという理由で、開隆堂としてよろしいでしょうか。

〇委員

（はいの声）

〇会長

それでは、家庭については、開隆堂出版に決定することを確認いたします。

それでは、小委員長より「保健」の教科書見本本の調査研究結果について報告をお願いします。

〇小委員長

小学校保健小委員会委員長の室蘭市立みなと小学校校長の村山修平です。

小学校保健の教科書見本本について、調査研究の報告に基づき説明させていただきます。

小学校保健小委員会では、6者の教科書見本本について調査研究を行いました。

はじめに、「取り扱い」について報告します。

学習指導要領の目標、内容に基づく学習活動についてですが、

光文書院の第3・4学年の「けんこうな生活」おいては、空気の流れについての実験結果を基に換気の大切さについて考えたりするなど健康に過ごすためには部屋の明るさや空気などの身の回りの環境を整えることの大切さを考えたりする学習活動が取り上げられています。

学研の第3・4学年の「体の発育・発達」では、思春期に起こる体の変化や男女の違いについて調べたり、給食の献立を調べ、栄養のバランスについて考えたりする活動が取り上げられています。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応についてですが、大修館書店の第3・4学年の「けんこうな生活」で、まずはじめに、体の発育・発達の学習において「どんなことに気をつけたらいいか」という課題設定により、児童に学習の見通しをもたせています。さらに、「考えよう」で、自分の食品の摂り方のバランスについて資料を基に主体的に考え、「話し合おう」で例示された朝食のメニューに追加する一品を選びその理由について話し合うなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げています。

大日本図書の第5・6学年の「けがの防止」においても、まず初めに「けがや事故はどのようにして起こるのでしょうか」という課題が設定され、「考えよう」において予測される危険や犯罪被害を防ぐための安全な行動について考え、「活かそう」で学習したことを活用して身近な場所や場面での危険を避ける安全な行動や環境づくりについて考えるなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

次に 内容の排列・構成について報告します。

内容の構成・排列について、東京書籍は、第3・4学年の「育ちゆくわたしたちの体」では、入学してからの体の成長について学習した後、体が発育する時期や変化する量の個人差について考える学習活動を位置付け、思春期の体の変化についても同様の学習活動ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

終わりに、使用上の配慮等について報告します。

文教社は、全学年で、単元のまとめとして、自分が考えた目標の達成に向けて、これから何が必

要なのかを考える活動を示したり、考えたことを伝え合う活動を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされています。

全体を通して、各教科書会社ともユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色に配慮するなど児童が視覚的にも理解しやすく、ICTを活用してさらに深められるよう二次元コードを掲載するなど工夫しながら、学習が意欲的に展開されるよう配慮されていたことを申し添えて報告を終わります。

○会長

ありがとうございました。ただいま、小委員長より報告をいただきましたが、委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

○委員

教科書の分量にずいぶんとバラつきがあると思います。文教社と学研が50%以上、大日本が21%増えておりますが、小委員会で話題になっていましたか。

○小委員長

現代的な健康に関する課題である新たな感染症を予防するために、新型コロナウイルス感染症に関する資料、病原体に対する抵抗力を高めるための説明資料を豊富に掲載しています。特に2者が多いですが、他者においても同様な傾向でページは増となっています。

○委員

子どもたちの運動能力や運動習慣が課題となっています。そういった課題を踏まえたときにそれぞれの教科書でどのような工夫がなされていますか。

○小委員長

自分がどのような実態であるかを教科書に直接書き込むですとか、過去を振り返って、入学当時からの自分の成長を振り返り、それを基に新たな自分の目標を設定するなど、自分が参加するタイプの教科書が増えています。

○会長

ご苦労様でした。それでは、お引き取り下さい。

それでは、ただいまの報告と質問に対する回答を踏まえながら1者選定に関する協議を行いたいと思います。皆様方から御意見をお伺いしたいと思います。

○会長

特に御意見が出ないようですけれども、継続の採択ということでよろしいでしょうか。

〇委員
（はいの声）

〇会長
　それでは、保健は身に付けた正しい知識を身につけさせることにより日常でも役立てるなど、学習意欲や関心を高めるための工夫がなされているという理由で東京書籍としてよろしいでしょうか。

〇委員
（はいの声）

〇会長
　それでは、保健については、東京書籍に決定することを確認いたします。
　それでは、小委員長より「外国語」の教科書見本本の調査研究結果について報告をお願いします。

〇小委員長
　小学校「外国語」小委員会委員長の登別市立富岸小学校長の小野島です。
　小学校「外国語」の教科書見本本について、調査研究の報告書に基づきご説明いたします。
　本小委員会では、6者の教科書見本本について調査研究を行いました。
　はじめに、「取扱内容」についてご報告します。
　1つめの項目「学習指導要領の目標、内容等に基づく学習活動」について、
　東京書籍では、「話すこと・発表」について、第6学年において、簡単な語句や基本的な表現を用いて最近の出来事や世界とのつながりについて、自分の考えや気持ちを話す学習活動が取り上げられています。
　三省堂では、同じく「話すこと・発表」について、第6学年において、簡単な語句や基本的な表現を用いて修学旅行や校外学習の思い出や将来就きたい職業について、自分の考えや気持ちを話す学習活動が取り上げられています。
　2つ目の項目「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」について、教育出版では、第5学年で、単元を見通した学習課題を設定し、欲しいものをたずねることや、自分が考えたオリジナル・メニューを使ってレストランのロールプレイをすることなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。
　啓林館では、第5学年で、単元を見通した学習課題を設定し、行ってみたい国を尋ねることや、一緒に行きたい国の魅力を伝えて友達を誘うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。
　次に、「内容の構成・排列」についてご報告します。
　開隆堂では、第6学年の Lesson6において、学校行事の言い方について聞く活動を通して、表

現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って小学校生活の思い出を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、小学校生活の思い出を発表し、思い出アルバムを作る活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

光村図書では、第6学年の Unit2において、日本の行事について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って好きな季節と行事を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の行事やその時にできることを発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

最後に、「使用上の配慮等」についてご報告します。

「学習意欲を高める工夫」について、三省堂では、「ABC Fun Box」で、音声で十分に慣れ親しんだ語句を扱い、読むことや書くことの活動を積み重ねるようにするなど、全学年で児童の学習意欲を高める工夫がなされています。

「主体的な学習への工夫」について、東京書籍では、単元の学習を見通す「Your Plan」や、テーマ別の「Check Your Steps」を全学年で設けるなど、児童が主体的にスモールステップで学習に取り組むことができる工夫がなされています。

「使用上の便宜」について、開隆堂では、全学年で「Let's Check」を年3回設定しており、4技能を網羅したペーパーテストやパフォーマンステストを実施することで、教師が総括的な評価ができるようにするなど、使用上の便宜が図られています。

以上で、「外国語」小委員会の報告を終了いたします。

〇会長

ありがとうございました。ただいま、小委員長より報告をいただきましたが、委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

〇委員

小学校の外国語については、非常にご苦労されているところかと思いますが、出版社の中で、別冊を用意しているところとそうでないところがありますが、この別冊の授業での取扱いについて、小委員会ではどのような意見が出ましたでしょうか。

〇小委員長

2学年で1冊であったり、学年ごとの別冊であったり、それぞれで使いやすい部分もあり、指導者によって受け止め方が違い、どちらが良いという意見は出ませんでした。

〇委員

全国学テの結果についてですが、聞くことについては比較的数値が高かったですが、書くことについては、中学生についてですが、低かったように思います。教科書の中に書くスペースがあったと思いますが、会社によって特徴はありましたでしょうか。

〇小委員長

少し幅が広くなっていて書きやすくなっているなどの工夫がありましたが、大きな差は見られませんでした。

〇委員

デジタル教科書についてですが、報告書の書き方が違いますが、機械読み上げや紙面の拡大などの特徴について、小委員会で話題になりましたでしょうか。

〇小委員長

デジタル教科書については、公表されている範囲が限定的で全てを網羅できておりませんが、実際の音声を聞いてみましたが、読み上げ自体に大きな差はありませんでした。

〇委員

子どもたちに英語を使って実際に話させることが大事だと思いますが、小委員会の中で、英語をアウトプットする機会が豊富に散りばめられているのはどこかという意見は出ましたか。

〇小委員長

全般的にインプットからアウトプットを意識されていて、前回の採択時よりも特徴的なものがなくなっているという意見が出ており、特徴的にどこの会社が良いというよりは、全体的に底上げされているように思います。

〇会長

ご苦労様でした。それでは、お引き取り下さい。

それでは、ただいまの報告と質問に対する回答を踏まえながら1者選定に関する協議を行いたいと思います。皆様方から御意見をお伺いしたいと思います。

〇委員

他教科と違い、歴史が非常に浅く、現場では非常にご苦労されていると思います。現場からは特に問題点があげられておりませんので、引き続き、開隆堂出版を継続して、学習指導にあたってもらうのはいかがでしょうか。

〇会長

ただいま、継続の採択ということで御意見をいただきましたが、特に異議がなければそのように進めてよろしいでしょうか。

〇委員

（はいの声）

〇会長

それでは、外国語は中学校への系統的・発展的な学習が期待できること、ペアやグループ活動によるコミュニケーションを図る機会を設けたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされているという理由で開隆堂出版としてよろしいでしょうか。

〇委員

（はいの声）

〇会長

それでは、外国語については、開隆堂出版に決定することを確認いたします。

それでは、小委員長より「道徳」の教科書見本本の調査研究結果について報告をお願いします。

〇小委員長

「特別の教科　道徳」調査委員会委員長の室蘭市立蘭北小学校長の小野です。

「特別の教科　道徳」の教科書見本本の調査研究の報告書に基づき、説明させていただきます。

「特別の教科　道徳」調査委員会では、6者の教科書見本本について調査研究を行いました。

はじめに、「取扱内容」について報告いたします。

「学習指導要領の総則」第4章第4節に、道徳科の教材に求められる内容の観点として、「児童の発達の段階や特性、地域の実情等を考慮し、多様な教材の活用に努めること。」とあり、特に、現代的な課題の題材として取り上げられている内容項目「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「情報への対応」を調査対象としました。

特徴的な2つの内容項目について説明いたします。

内容項目「生命の尊厳」についてです。

これは低学年において、大きな特徴が見られました。

低学年は命とはどういうものかを考えさせる教材となっておりますが、光文・光村・日文は、自分の命や成長に目を向けさせる学習活動になっています。例えば、誕生や周りの人はその時どのようにうれしかったのかという思いを考える教材となっています。

教出・学研・東書は、人間のみならず、動物や植物、多様な観点が網羅されておりました。特に、学研では、実物大の赤ちゃんの写真をスタートにしながら、低中高学年を通して、動物の命、ペット、中学年では目が見えない捨て犬を保護する、高学年では捨てられたペットを題材に、命の大切さについて考える学習活動を展開しています。

中・高学年においては、命を守る、限りある命、思いを受け継ぐというのは、どの教材でも見られますが、光文では、多様な視点からの教材を取り扱っています。命を守る視点から消防士、日本レスキ

ュー隊、山岳警備隊、動物を守る活動、限りある命という部分では病気で亡くなった命を題材に、思いを受け継ぐ部分では、東日本大震災、沖縄戦、原爆症、事故や犯罪で亡くなられた方々への思いをという様々な視点が取り上げられています。

次に、内容項目「情報化への対応」についてです。

こちらも低学年において、大きな特徴が見られました。

光文と東書では、1・2年生の段階からスマホ・ゲーム機・コンピューターを使うときのルールを考える学習活動となっています。

教出・学研・光村では、1・2年生では、日常的な場面を扱っています。みんなで使う場所のルール、掲示板を使うときのルール、学級新聞、図工の時間においてのルールの大切さについて考える学習活動を取り上げており、大きな違いが見られました。

また、中・高学年につきましては、どの教材も、使用時間の約束、情報発信、著作権、情報コミュニケーションの在り方、言葉遣い、チャット、グループトーク外しなどが網羅されております。東書については、さらに情報化により生み出される差別、光文については、情報を受け取る視点からの情報はすべて正しいかという部分、スマホの役立つ面と注意すべき面に触れられています。

次に、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について説明いたします。どの出版社も、主体的・対話的で深い学びができるような工夫されています。

話し合いを通して、役割演技を通して、続きの言葉を考える活動、付箋でよさを伝える活動があげられています。

特に、日文では5年生のこれって不公平という教材において、それぞれの場面において、公平か不公平かをグループで考える活動があり、児童が問題意識を持って多面的・多角的に考えたり、深めたりできる学習活動になっています。

次に、「内容の構成・排列」について報告いたします。

道徳の教科化にともない、読み物中心の教材から討論や体験的な学習活動を取り入れた、「考え、議論する道徳」へと変わることになり、各者ともに「自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動」や「問題解決的な学習活動、及び体験的な学習活動」を取り入れています。

言語活動では、光文におきましては、学習の進め方として「みんなが気持ちよく話し合うためのこつ」が示され、考えを広げたり深めたりできる工夫がされています。

問題解決的な学習では、東書において、各学年に「問題を見つけて考えよう」の中で、気づきから深めるまでの流れを3つのステップで例示しています。

体験的な学習では、学研において、各学年に、教材につなげて考えたり、話題を広げたりする「心のパスポート」を位置づけ、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から、道徳的価値の意義などについて考えを深める工夫がされています。

最後に、「使用上の配慮事項」について報告いたします。

学習意欲を高める工夫では、教出において、各学年に、見通しをもって学習に取り組めるよう「学びのガイダンス」や「道徳ではこんな学び方をするよ」が配置されています。

主体的な学習への工夫では、各学年に、学びを広げ深めるコラム「心のベンチ」や教材の理解を

助ける「リード文」「導入の発問例」「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」の3つの問いが配置されています。

使用上の便宜では、すべての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントなどが採用されていて、使用上の便宜が図られています。

その他の特色では、各者、デジタルコンテンツを活用した教育を行うための工夫がされておりました。

以上、報告いたします。

○会長

ありがとうございました。ただいま、小委員長より報告をいただきましたが、委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

○委員

いじめの問題に関する素材数について、それぞれ差がありますが、小委員会で話題になりましたか。

○小委員長

素材数というよりは、情報の部分におきまして、幅広くいろいろな視点からのいじめというのに広がりが見られるという意見がありました。

○会長

ご苦労様でした。それでは、お引き取り下さい。

それでは、ただいまの報告と質問に対する回答を踏まえながら1者選定に関する協議を行いたいと思います。皆様方から御意見をお伺いしたいと思います。

○委員

特別の教科道徳ということで始まっておりますので、光村図書を継続して使用しながら、5年後に判断するということでもよろしいと思います。

○会長

他に御意見がないようでしたらそのようにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○委員

（はいの声）

〇小委員長

それでは、道徳は導入における発問により、主体的に考え、話し合う、また、学習を次につなげるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされているという理由で光村図書としてよろしいでしょうか。

〇委員

（はいの声）

〇会長

それでは、道徳については、光村図書に決定することを確認いたします。

それでは、小委員長より「特別支援」の教科書見本本の調査研究結果について報告をお願いします。

〇小委員長

「特別支援教育」小委員会委員長の伊達市立星の丘小学校長の渡辺敬方です。

特別支援教育小委員会の教科書見本本について、調査研究の報告書に基づき説明します。

はじめに、発行者数についてです。

特別支援教育小委員会では、「国語」6者、「算数」6者、「音楽」6者の教科書見本本について、調査研究を行いました。

次に教科ごとに2冊について「取扱内容及び使用上の配慮事項等」を報告します。

「国語」は、「さわってあそぼう ふわふわあひる」と「100かいだてのいえ」の2冊です。

「さわってあそぼう ふわふわあひる」は、色、形、手触りと動物の名称を関連づけて学ぶことで言葉をイメージする力を養うことができるよう構成されています。巻末には、すべての動物や形が描かれており、形や色で動物探しをするなどの学習を進めることができるよう配慮されています。「ふわふわ」「ざらざら」などの触感を実際に触って感じられる材質にするなど、学習意欲を高めるよう工夫さています。

「100かいだてのいえ」は、100 階建ての家に住む動物たちと主人公のやり取りを通して、言葉でのやり取りへの興味が高まるように構成されています。ページごとに動物や部屋の雰囲気が異なるため、次のページへの期待感を持って読めるよう配慮されています。本は縦開きの見開きで高さを感じる作りとなっており、主人公と一緒に階段を昇っていく気持ちになるよう工夫されています。

「算数」は、「デコボコえほん かずをかぞえよう！」と「音の出るとけいえほん いまなんじ？」の2冊です。

「デコボコえほん かずをかぞえよう！」は、1から 10 までの数について、指でなぞりながら数を数えて、数の概念や表し方について学べるよう構成されています。数えるものが飛び出していたり、数字がへこんでいたりするので、指で体感して数字が覚えられます。また、シンプルな絵本なので、何度もでも繰り返し楽しめるようになっています。本全体が厚手の紙で作られており、凹凸を触って数

を理解できるよう工夫されています。

「音の出るとけいえほん　いまなんじ？」は、時計を操作し、ボタンを押すと音声で時刻を教えてくれて、時刻の読み方や時間の感覚が身に付くよう構成されています。様々な生活場面に即した時刻を当てるクイズが設定されており、子どもが自身の生活と結び付けやすいよう配慮されています。ボタンを押すことにより、音声で時刻を教えてくれたり、クイズを出題したりするなど、興味をもって取り組めるよう工夫されています。

「音楽」は、「うたってたたこう！わくわくリズムあそびどうようえほん」と「おとがなるしかけえほん　はじめてのオーケストラ」の2冊です。

「うたってたたこう！わくわくリズムあそびどうようえほん」は、14 曲の童謡が、見開きのページに1曲ずつ掲載されており、曲をイメージした絵とひらがなの歌詞がかかれた構成になっています。巻末には曲の自動演奏の一覧があり、聞きたい曲のボタンを押すと曲が流れるとともに、自動演奏に合わせてカスタネットや鈴のボタンを押すとそれぞれの音が鳴り、曲に合わせてリズムをとることができるよう配慮されています。歌詞の文字の上には楽器のマークがついていて、歌詞のどこでどの音を鳴らせばよいのかがわかるようなっているため、音や音楽の楽しさを味わえるような工夫がされています。

「おとがなるしかけえほん　はじめてのオーケストラ」は、「ハンガリー舞曲第5番」をとおして、オーケストラを楽しく学べるような構成になっています。管楽器や打楽器等の楽器がパートごとに紹介しているページがあり、それぞれのページの丸い穴を押すと楽器パートごとの音や曲が聞けるとともに、説明は全て平仮名や片仮名で書かれていて、読みやすい配慮がされています。最後のページのQRコードを読み取ると、オーケストラ演奏の動画を視聴でき、演奏の楽しさを見出せるような工夫がされています。

以上で、特別支援教育小委員会の報告を終わります。

○会長

ありがとうございました。ただいま、小委員長より報告をいただきましたが、委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

○委員

機械的にデジタルなものが入ってきたりだとか、かなり子どもたちが興味・関心を持って取り組めるような工夫がなされているということでよろしいでしょうか。

○小委員長

特に、音楽の場合は、今までは、音楽だけが流れるだけだったものが、本にボタンがあって、カスタネットや鈴がついていたり、さらにいろいろな工夫がされて、子どもたちに興味・関心を持たせるものになっております。

〇委員

特別支援の子どもたちにとっては、五感を働かせて学べるものがより良いということでしょうか。

〇小委員長

ただ、文字だけでは、なかなか興味・関心が持てませんので、五感を使いながら教科書・文字・数字・言葉に触れるのが良いと思いますし、個人の特性もありますので、担任の先生と保護者と相談しながら、子どもにあった教科書をいかに選ぶかが重要だと思います。

〇会長

ご苦労様でした。それでは、お引き取り下さい。

特別支援については、児童の障がいの種類や程度に応じて、各市町教育委員会が採択することになっていますので、よろしいでしょうか。

〇委員

（はいの声）

〇会長

それでは、全ての協議、選定が終了しましたので、一度、事務局にお返しします。

〇事務局

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の1者選定が決定しましたので、改めて確認します。

国語につきましては、「光村図書出版」です。

書写につきましては、「光村図書出版」です。

社会につきましては、「教育出版」です。

地図につきましては、「帝国書院」です。

算数につきましては、「新興出版社啓林館」です。

理科につきましては、「東京書籍」です。

生活につきましては、「教育出版」です。

音楽につきましては、「教育出版」です。

図画工作につきましては、「日本文教出版」です。

家庭につきましては、「開隆堂出版」です。

保健につきましては、「東京書籍」です。

外国語につきましては、「開隆堂出版」です。

道徳につきましては、「光村図書出版」です。

以上でございます。

〇会長

次に、議事（2）の「令和5年度教科書展示会おける意見等」について、事務局から報告してください。

〇事務局

第10採択地区における各市町で開催の「令和5年度教科書展示会」において、寄せられた意見等を報告します。

各市町の展示会で寄せられた意見を集約したところ、1市1町で意見等がありましたので、口頭で報告いたします。

内容については、出版社によって言葉の表現が違い、捉え方も変わる印象がありました。どのような教育が必要と考え、教科書を選定されるのか注目しつつ、とても気になります。

教科書の選定は子供のことを一番知っている現場の教師の意見をたくさん取り入れてあげてください。

「覚える」よりも「やってみよう」が大事にされている内容で小・中共に英語学習を保護者の方と共に学べる可能性があってよいと思います。

といった意見等が寄せられ、全体では13件ありました。

以上です。

〇会長

この件について、何かご質問等はありますでしょうか。

特にないようですので、本日、予定していました議事については、以上をもちまして終了いたしました。

事務局に進行をお返しします。

〇事務局

事務連絡をさせていただきます。

本日の選定結果につきましては、後日、通知をさせていただきます。

次に、本日選定しました令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択につきましては、協議会規約第2条第2項及び無償措置に関する法律施行令第14条により、8月31日までに各市町教育委員会で採択することとなりますので、よろしくお願いいたします。

次に、採択結果の公表についてですが、準備ができましたら、「選定結果」「協議会議事録」「調査研究報告書」を掲載した室蘭市 HP の URL を通知しますので、各市町教育委員会でリンクして公表をお願いいたします。

最後に、調査委員会委員への旅費については、各市町教育委員会で支払いをお願いいたします。

事務局からは、以上でございます。

〇会長

その他、委員からございますか。

ないようですので、以上で、令和5年度第3回教科用図書第10採択地区教育委員会協議会を終了いたします。